



「石小創立140周年おめでとう」の文字を中学校の校舎に掲げました。

職場体験学習発表会を小学校で実施

11月21日(火)、中学校1年生(33名)が、石川地域で行った職場体験学習(10/31, 11/1)から学んだことについて、小学校5・6年生に伝えました。中学校1年生が工夫して作った手作りの資料をもとに、紙芝居&屋台村方式で行いました。小学生は中学生になったら行う体験学習や身に付いていた方がよいマナーなどについて学ぶことができました。中学生も発表力・表現力を養うための場となり、有意義な小中一貫キャリア教育となりました。なお、この活動も「ひろさき卍学」の一環として実施しました。

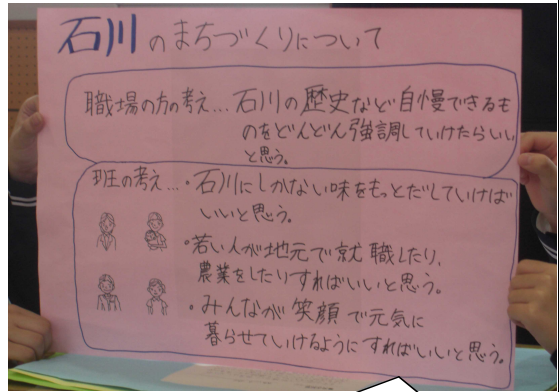


「白寿園」に訪問した班は、アクションも取り入れて発表していました。

「富士見総業」に訪問した班は、男1人女2人の班ですが、チームワークよく発表していました。



11の班が発表しているところに小学生のグループが時計回りに移動しました。



石川のまちづくりについて、職場の方に質問し、それを受けて、班でこれからの石川について考えました。

地域とともにある学校づくり推進フォーラム(岩手会場)に参加



大槌学園の見守り活動

11月7日(火)、小学校の相馬校長先生、石郷岡先生がこのフォーラムに参加し、岩手県大槌町、宮城県登米市など東北各地のコミュニティ・スクールの取組事例を学ぶことができました。11月24日(金)の小・中三役会で、相馬校長先生から「CSという形式が大切なのではなく、どのような子どもを育てたいかが大切である。そのために、学校・地域が協働でできる仕組みをそれぞれの実状に応じて構築するので、CSの最終形は様々でよい。石川地区の課題に対する手立てとしてCSがあることを再認識したい。」という報告・所感がありました。